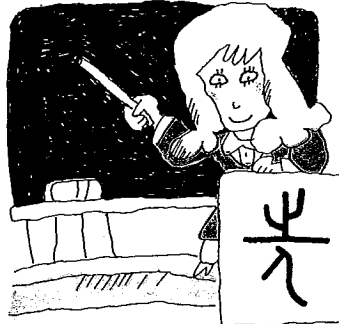


先

おん セン
せん

〔1年〕

6画
ノ 一 一 一 一 一 一
下をながく



なりたち 植物の枝さきが上へ上へのびゆくさまを表した生と人との会意字。人が進歩向上することを表した字。"さきに進む"意味から今は単に"さき・前"の意味に使われる。

いみじゆく
▼さき。まえ。
▼先頭：列の一番前。
▼さきだつ。さきにする。
▼優先：他よりも先にすること。

例優先権

▼過去の。以前の。
先曰：何日か前の日。**用例**先日お話しした件でご相談にありません。

用例先例にならう。

▼これから先。将来。
老い先：年をとった人のこれから先の余生。**用例**老い先短い老人。

むこう

▼むこう。
先方：相手の人。**用例**先方の意向を聞いてみる。

よみかた

先棒・先程・先回り・先鋭・先覚者・先駆・先人・先達・先端・先入観・先輩・先約・機先・率先・筆先

先児

児

おん ジニ
に

〔4年〕

7画
一 一 一 一 一 一 一
はわる



なりたち 旧字体は兒で、幼児の形を表した象形字。"おきな"のこと。

いみじゆく
▼ことも。
▼乳児：ちのみこ。お乳を飲んでる年齢の子供。
▼幼児：幼い子供。
▼児童：子供。特に小学生のこととをいう。

用例児童に等しい。

▼むすこ。むすめ。
愛児：かわいがっている子供。
▼わかもの。
健児：血気盛んな若者。
▼よみかた 育兒・遺児・孤児・小児・胎児・風雲児

さんこう

▼さんこう 特別なよみかた↓
稚児

光

おん コウ
り ひかる・ひか

〔2年〕

6画
一 一 一 一 一 一
はわる



なりたち 火と人との会意字。人が火をかざして足もとを照らすことを表した字で、"てらす・てる"ことを表した字。転じて、"ひかる・ひかり"。さらに転じて、"美しい景色"の意味に使われる。

いみじゆく

▼ひかる。かがやく。ひかり。
光明：①明るい光。②希望。
用例前途に光明を見いだす。
後光：神や仏の身体からさす光。

光源

▼光源：光を出すもと。
光年：天文学上の距離の単位。光が真空中を一年間に進む距離。

距離

▼光に照らされて美しく見えるもの。つや。

光沢

▼光沢：金属・宝石・布などのかがやき。つや。

ほまれ

▼ほまれ。名譽。
光榮：はえある名譽。

光臨

▼光臨：人が来ることをうやまつという言葉。

時間

▼時間。
光陰：月日。(光は昼、陰は夜)

用例光陰矢のとし。

よみかた

光景・光彩・光線・光度・栄光・觀光

輝

おん キ
かがやく

15画
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
はわる



なりたち 本字は輝で、火と軍の会意形声字。軍隊が夜営してたくかがり火を表した字。"明るくてらす・かがやく"こと。

いみじゆく

▼光りかがやく。かがやき。
光輝：①光のかがやき。②かがやく名譽。**用例**光輝あふれる伝統。

輝石

▼輝石：鉱物の一種。八角柱で暗緑色・暗褐色・黒色などの色をしている石。

光輝